

■その他

便秘，風邪，鼻血，湿疹，創傷，慢性的な間欠性の発熱など

MODALITY

- 嘔吐（嘔吐の症例のとき）
- 暑さ（皮膚病変があるとき）など

低めのポテンシーを使用します。

Helleborus niger クリスマスローズ [脳脊髄の急性炎症]

Helleborus niger L.

Helleborus grandiflorus Salisb

BACK GROUND

Helleborus niger は，キンポウゲ科の多年宿根草で，南ヨーロッパの岩場や山岳地帯が原産のため，耐寒性の強い植物です。真冬の12月の下旬から開花期に入るためクリスマスローズと呼ばれ，世界中の園芸で利用されています。花は，落ち込んでいるかのように下を向いて咲きます。



この植物の根茎は短く黒色で，この色から Black helleborus とも呼ばれています。Helleborus とは，ギリシア語で殺す・植物という意味です。狩りのときに根から取った汁を矢じりに塗ると，獲物の肉が軟らかくなるといわれています。葉は根生し，革質で，7つ以上の小葉をもつ掌状複葉の形態をしています。

古代ローマですでに，この植物を向精神薬として用いていた記録があります。また，古代ギリシア・ローマ時代の哲学者たちは，長い討論会の前に神経を集中させるために，この植物でつくった飲物を飲んだ記録が残っています。

Helleborus niger は，以前は心臓病，外部寄生虫駆虫，麻酔薬，月経促進薬，下剤などに使われていましたが，毒性が強いため，現在ホメオパシー以外では使

用されていません。有毒成分は，全草にありますが，とくに根茎に集中しています。

この植物の毒性は主に**中枢神経系**，消化器系，腎臓に出ます。この根茎を食べると，流涎，吐き気，しつこい嘔吐，腹痛，嚥下困難，下痢，血便，ふくらはぎの痙攣，めまい，顔面蒼白，光線恐怖症，耳鳴り，視力障害，乏尿などが起こります。また慢性化した場合は，体液のバランスに障害が出てきます。水頭症や滲出性髄膜炎，脈絡叢への組織液の流入障害によって，ボーッとしたり，知覚麻痺，反応遅延，昏睡状態などの症状が出ます。非常に深い昏睡のような睡眠状態になることもあり，寝ているときにうめき声を上げることがあります。手足が勝手に動くこともあります。また，他の体液バランスの乱れとして，胸水，腹水，浮腫など腎機能障害，乏尿に関連する症状が出る場合があります。とくに神経系で特徴的なのは，頭部の熱感や重苦しさ，後頭部から首筋にかけての激しい頭痛，光線恐怖症などがあります。

MATERIAL

冬期に採取した根茎。根茎には，精油やニコチン酸，利尿作用や抗めまい作用などがあるヘレボレイン，心臓に作用するヘレブリン，粘膜に炎症を起こすスプリンチリンなどが含まれています。この根茎のパウダーは，甘苦く，吸い込むとひどいくしゃみが出ます。

FIRST PROVING

ハーネマン（『Materia Medica Pura』第3巻，1805）

MIND

Helleborus niger タイプは，ボーッとしていて，記憶力に乏しく，憂うつになったり，落胆しやすい性格

をもっています。眼は上を向き、瞳孔は開いた状態で反応に乏しく、顔は青白くて額に冷や汗をかきます。何か話したり、質問に答えるのにさえ多大な努力が必要です。頭の中は空っぽで、ほんとうに何も考えていません。何事にも無関心になっています。無意識にため息をつくことがあります。唇や服をいじったり、咀嚼動作をする傾向があります。口臭がひどいです。自分で行っていることに集中しないと、途中で何をしていたのか忘れてしまう傾向があります。喉はあまり渴きません。リングと野菜を嫌います。

AFFINITY

*Helleborus niger*は、精神、脳神経系、感覚中枢、運動神経、感覚神経、粘膜、漿膜、腎臓、筋肉、分泌系に親和性をもっています。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、主に（急性感染症や頭部の外傷に起因する）**脳脊髄の急性の炎症**に対して使われます。

■精神

- ・何も考えていない状態で集中力の欠如：とくに午後4時～8時頃
- ・思考が鈍くなり、体のコントロールができにくいので、手にもったものを落としてしまいます。
- ・記憶力の低下：アルツハイマー病の症状に近い状態です（Alumina）。
- ・うつ病
- ・活力の減退：頭の中が空っぽになり、動かなくなります。
- ・自閉症
- ・記憶喪失

■中枢神経系

- ・**脳炎、髄膜炎**（体は冷たいのに頭が熱く感じる傾向があります。痙攣を起こしていることがあります）
 - ・**頭部の打撲や脳震とう**
 - ・頭部外傷後の慢性後遺症：とくに子供の例
 - ・てんかん
 - ・昏睡状態
 - ・頭痛、片頭痛：ボーッとしていることが多いstupid headache。とくに頭部外傷後や脳外科手術後に。頭痛はよく後頭部や首に近い部分から始まります。嘔吐を誘発するめまいが併発する場合があります。
 - ・運動失調
 - ・片側バリエーション
 - ・アルツハイマー病
 - ・破傷風
 - ・知覚麻痺
- ### ■消化器系
- ・消化障害：口臭が強い
 - ・大腸炎（粘液を伴う水様便）
 - ・潰瘍性大腸炎

MODALITY

- ▶ 暖かさ、何かに包まれていること、静かに休息すること、外気
- ◀ 冷たい空気に曝されること、午後4時～8時、夜から朝にかけて、運動、触られること、前かがみになること

RELATIONS

- ・Antidote：Camphora, China

Heloderma suspectum アメリカドクトカゲ [極寒の寒さ]

Heloderma suspectum

BACK GROUND

*Heloderma suspectum*は、アメリカ南部に生息するトカゲ亜目ドクトカゲ科、アメリカドクトカゲの毒液です。このトカゲは、一般的にはGila Monsterと呼ばれています。この名は、生息地の1つであるアリゾナを流れるGilaヒラ川の名に由来しています。

トカゲ類で毒をもつものは、世界でもこのアメリカ

ドクトカゲと、同属の少し大きいメキシコドクトカゲ（*H. horridum*）のみが知られています。この両者とも、ホメオパシーのレメディに使用されています。

アメリカドクトカゲは、アリゾナ州西部から南部、ユタ州南西部、ネバダ州南部が主な生息地で、山麓の丘陵地帯、半砂漠地帯の山の斜面や溪谷の底部に生息しています。しかし、近年の開発、放牧地や農地の開